

## 令和7年度 学校評価のまとめと次年度へ向けて

### ○学校評価アンケートの集計について

アンケートは、令和3年度より google フォームを用いた Web アンケートにて実施しています。令和7年度の保護者アンケートは、各項目で保護者 380 名の回答があり、約61%の回答率（児童数にて計算）でした。ご回答をいただき誠にありがとうございました。なお、児童アンケートは、594 名の回答があり約95%の回答率でした。

### ○設問「学校は、保護者に対して丁寧に対応や説明をしている」の結果について

95%の保護者の方から「よくあてはまる・ほぼあてはまる」と回答があり、昨年度より2%上昇しました。多くの保護者の皆様に、本校の姿勢を好意的に受け止めていただけたことを大変有難く感じております。皆様からの温かい評価を励みにしつつも、残る5%の課題意識を真摯に受け止め、日頃から「迅速な情報共有」や「一人一人に寄り添った対応」を意識し、今後も「開かれた学校、相談しやすい学校」を目指してまいります。気になる点やご不安なことがございましたら、学校までお寄せください。

### ○設問「お子さんは、楽しく学校生活を送っている」の結果について

95%の保護者の方から「よくあてはまる・ほぼあてはまる」と回答があり、昨年度に引き続き、高い水準を維持することができました。「楽しく学校生活を送る」ことは、すべての学びの土台です。95%という結果に安心することなく、残る5%の「不安を感じている」児童や保護者の方々の声にも真摯に向き合っており、全ての児童が安心して学校に登校できるよう、今後もいじめの未然防止や早期対応、「分かった!」「できた!」を積み重ねる授業づくりに力を注いでまいります。

### ○設問「お子さんは、授業がよく分かると言っている」「学校の授業はよく分かる」の結果について

81%の保護者が「よくあてはまる・ほぼあてはまる」、93%の児童が「そう思う・だいたいそう思う」と回答しました。保護者アンケートと児童アンケートの間に12%の差がありました。これは「学校では分かっているが、家庭で定着を確認する際に不安がある」ことが要因の一つと考えられます。学校での学びが、確かな学力として定着するよう指導を工夫していく必要があると認識しています。学校では、教員同士の授業公開や、外部講師を招いた研修会を定期的開催して、指導技術の向上を図っています。また、一人一台端末の活用や友達との話し合いを通じ、「自ら学び、深め合う児童」を育てる授業づくりを進めています。今後も、「分かる・できる」授業を目指して取り組んでまいります。

### ○設問「いじめはどんな理由があってもいけない」の結果について

98%の児童が「そう思う・だいたいそう思う」と回答しました。昨年度の97%からさらに1%向上し、ほとんどの児童がいじめを否定する意識を持っていることが分かりました。学校では、毎月アンケート等を実施して、いじめの早期発見や解決のための支援を行っています。また、12月の人権週間とは別に、6月に本校独自の「ミ二人権週間」を実施し、児童会を中心に人権についての啓発を進

めています。また、専門家による啓発授業として、6年生を対象とした「弁護士によるいじめ予防講座」や、5年生を対象とした「ネットモラル塾」を実施しました。専門的な視点から、いじめが心を与える影響や、より良い人間関係の築き方、SNSでのトラブル防止について深く学んでいます。今後も、いじめを許さない雰囲気づくりと、児童が困った時にいつでもSOSを出せる体制を強化してまいります。

#### ○設問「お子さんは、家庭でよく読書をしている」「よく本を読んでいる」の結果について

「よくあてはまる・ほぼあてはまる」と回答した保護者は33%に留まり、「そう思う・だいたいそう思う」と回答した児童は59%でした。児童アンケート結果は、昨年度の64%から5%減少する結果となっています。デジタル端末の普及など、児童を取り巻く環境の変化も影響していると考えられますが、学校としても改めて「本に親しむ機会」の質を高めていく必要があると認識しています。現在、本校では、読書週間を1年間に2回設定しています。読書週間中には、担任による読み聞かせに加え、ボランティアの皆様による読み聞かせを実施して、本の世界に浸る体験を大切にしています。また、図書館では、新刊の紹介や、季節に応じた図書展示を行い、児童が思わず手に取りたくなる環境づくりに努めています。読書は、思考力や集中力を養うだけでなく、心の安定にも大きく寄与します。学校では今後も魅力ある本との出会いを意識して設定していきたいと思えます。

#### ○保護者記述意見「運動会の日のお弁当」について

来年度の運動会の日程につきまして、「運動会が午前中で終了するのであれば、お弁当無しで下校としてはどうか」というご意見をいただきました。学校内でも慎重に検討を重ねましたが、来年度につきましても、お弁当持参とさせていただきます。

その一番の理由は、「行事を通じた学びの振り返り」にあります。運動会という大きな行事を終えた直後の、子どもたちの高揚感や達成感は、その瞬間だけの特別なものです。競技を終えた直後の教室には、感動や悔しさなど、多様な感情が溢れています。この感情が新鮮なうちに振り返りを行うことで、子どもたちの自己肯定感を高め、次なる目標への意欲を育みたいと考えております。

お弁当のご準備等、保護者の皆様にはご負担をおかけすることとなりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【学校へのご意見等】

運動会の日のお弁当に関する記述意見のほかにも、建設的なご意見、心配ごとや困りごと、ご要望をいただきました。それらのご意見を真摯に受け止めまして、学校運営協議会をはじめ、関係各方面との協議を含め総合的に判断しながら今後に生かしていきたいと思えます。